



七ヶ浜町x東北大学 防災シンポジウム2021

オンライン開催

令和3年

9/17 (金)

10:00 開始
開場 09:30

オンライン配信
(Zoom Webinar)



今村 文彦

指定国立大 災害科学
世界トップレベル研究
拠点・拠点長



寺澤 薫

七ヶ浜町長



宮城 豊彦

東北学院大学
名誉教授



寺田 賢二郎

東北大学
災害科学国際研究所



ゲルスタ ユリア

東北大学
災害科学国際研究所



白倉 瞳

東北大学
災害科学国際研究所



サッパシー アナワット

東北大学
災害科学国際研究所



岩崎 俊樹

東北大学
理学研究科



李 善姫

東北大学
東北アジア研究センター

話題提供（10:10-11:10）



災害と心の健康～10年間の調査から見えてきたこととこれから～

白倉 瞳（東北大学 災害科学国際研究所・助教）

東北大学・七ヶ浜町共同事業「七ヶ浜健康増進プロジェクト」では、東日本大震災以降10年間にわたり町民の皆様にご協力いただき、震災が心身の健康に及ぼす影響を調査してきました。本講演では、10年間の調査結果とともに新型コロナの影響についても取りあげ、災害時に心の健康を保つために気をつけたいことについて発表します。



世界的な津波防災啓発活動：国連が定めた世界津波の日を通じて

サッパシー アナワット（東北大学 災害科学国際研究所・准教授）

2016年から11月5日は世界津波の日です。我々は国連機関が実施しているアジア太平洋における学校防災教育及び津波避難訓練の活動に貢献しています。本講演では、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、2020年の世界津波の日に公開した学校における津波避難運営ガイドライン、アンケート調査によるコロナ禍の災害避難に関する意識について発表します。



七ヶ浜の気候特性と気象情報の利用について

岩崎 俊樹（東北大学 理学研究科・特任教授）

2020年6月から、町役場の屋上と菖蒲田浜海水浴場の2か所で気象観測を実施しています。1年間の観測結果を用いて、塩釜や仙台と比較し、七ヶ浜町の気候特性を考えます。七ヶ浜の観測結果は誰でもリアルタイムで見ることができます。登録すれば過去データも検索できます。この観測が、身近な気象情報利用を考える機会となることを期待しています。



男女共同参画と多様性の視点から問う“災害に強い社会”とは

李 善姫（東北大学 東北アジア研究センター・助教）

災禍続きの昨今、日本だけでなく世界各地において「災害に強い社会（レジリエントな社会）」の構築が重要な課題になっています。しかし、災害に強い社会とは、どのような社会を指し、どのように実現できるのでしょうか。本講演では、女性や外国人たちが経験した東日本大震災での教訓をもとに、ソフト面での「レジリエントな社会」の条件について発表します。